

2026 年 7 月 2 0 日

清水総合開発株式会社

（仮称）石狩冷凍冷蔵倉庫開発プロジェクトに参画のお知らせ

ー北海道初のマルチテナント型冷凍冷蔵倉庫の開発ー

清水総合開発株式会社は、いしかり特定目的会社（以下、SPC）に他の出資者と共に優先出資を行い、北海道小樽市（石狩湾新港地域）でマルチテナント型冷凍冷蔵倉庫の開発を推進します。

◆プロジェクトの特徴

1. 北海道初のマルチテナント型冷凍冷蔵倉庫を開発

本プロジェクトは、北海道初となるマルチテナント型冷凍冷蔵倉庫の開発計画です。冷凍食品需要や食品 EC 市場の拡大を背景に高まる低温物流ニーズに対応し、複数の物流事業者・食品関連企業が利用可能な先進的な物流拠点を整備します。

2. 北海道有数の物流集積地における開発プロジェクト

本プロジェクトは、総面積約 3,000ha を擁する北海道最大級の産業・物流拠点「石狩湾新港地域」に位置しています。同地域には約 750 社の企業が進出し、20,000 人を超える就業者が集積しています。また、冷凍冷蔵車両を保有する道内主要物流事業者や冷凍冷蔵倉庫が集積しており、北海道の食品物流を支える重要な物流拠点として発展を続けています。



完成イメージパース①



完成イメージパース②

◆「(仮称) 石狩冷凍冷蔵倉庫開発プロジェクト」概要

所 在：北海道小樽市銭函四丁目 158 番 7 (地番)

敷地面積：7,630.38 坪

用途地域：工業専用地域

交 通：札幌駅から車で約 30 分、新千歳空港から車で約 60 分

事 業 主：いしかり特定目的会社 (SPC)

スケジュール：着工予定 2026 年秋 竣工予定 2028 年春

◆多様な物流ニーズに対応する物流施設開発

物流施設の開発においては、あらかじめ特定のお客様のご要望に沿って立地を選定し設計施工を行う BTS 型やマルチテナント型（複数テナント入居施設）の物流施設など様々な利用形態の施設開発を進めてきましたが、危険物倉庫や冷凍冷蔵倉庫など物流用途の領域も広げております。

これまで、宮城県亘理町で BTS 型物流施設、神奈川県秦野中井で BTS 型危険物倉庫の開発実績を経て、半導体企業集積地である北海道千歳市で初のマルチテナント型の物流施設の開発を進めています。本プロジェクトは、当社初の冷凍冷蔵倉庫の開発となります。

清水建設グループが有する物流施設の企画・設計・施工に関するノウハウや知見を結集し、多様化・高度化する物流ニーズに応える施設開発を推進するとともに、グループ全体で取り組むストックビジネスのさらなる拡充につなげていきます。

今後も様々な不動産事業機会への積極的なアプローチを行っていくことで総合不動産会社として持続的な成長を目指していきます。